

(技術資料) メタル障害位置測定器 MAX-610

測定対象メタルケーブルの規定以外の導体径の登録方法

(1) 0.9、1.27mm の測定をしたい場合

① 下記図：4.1.1 ケーブル選択を参照してください。

4.1.1 ケーブル選択

ケーブルタイプ選択では、各測定時(TDR、RFL など)のケーブルタイプの初期値を設定することができます。測定頻度が多いケーブルタイプを選択しておく便利です。

(1) ケーブル帳画面で『ケーブル選択』を選択します。ケーブル選択画面が表示されます。

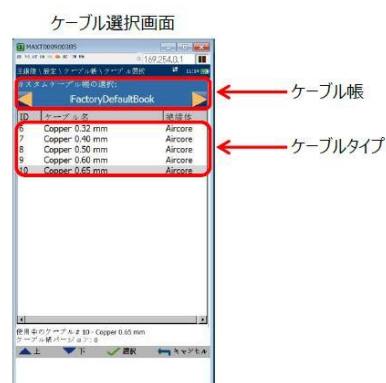


(2) 「カスタムケーブル帳の選択」で登録されているケーブル帳を選択します。初期は、「FactoryDefaultBook」が登録されています

<選択方法>

- 左右矢印キーで選択
- 決定キー(✓)を押してサブメニューから選択

(3) 「ケーブル帳」を選択後、下矢印キーで登録されているケーブルタイプを選択します。選択したケーブルタイプの詳細を見たい場合は、選択した状態のまま決定キーを押します。



- ②ケーブル帳画面でケーブル選択のアイコンを押し、ケーブル選択画面を開きます。
- ③画面の上部分に【Factory Default Book】と表示されているので、→を押し、【UK Cable Book】に変更します。
- ④その画面欄に 1.27mm がありますので選択してください。
- ⑤下記図：4.1.4 ケーブルのコピーを参照してください

4.1.4 ケーブルのコピー

ケーブルのコピーでは、既に登録されているケーブルタイプの設定値を流用して新たに登録することができます。

- (1) ケーブル帳画面で『ケーブルのコピー』を選択します。コピー元のケーブルタイプを選択する画面が表示されます。上下矢印キーで選択して『コピー』を選択します。

※ コピー元選択画面は、ケーブル選択(4.1.1 項)で選択したケーブル帳に登録済ケーブルタイプのみが表示されます。



- (2) ケーブル帳「CableBookSettings」の「ケーブル詳細」画面が表示されます。コピー元のパラメーター値が入力されています。変更する場合は、上下矢印キーで移動して決定キーで値を変更します。変更後、『適用』を押して登録します。

※ パラメーターを変更しない場合は、『適用』が有効になりません。



- ⑥ケーブルのコピーのアイコンを押すと、【UK Cable Book】が表示されるので、そこから 1.27mm を選択してコピーボタンを押します。
- ⑦再度、上図 4.1.1 ケーブル選択を押します。画面上部に【UK Cable Book】と表示されているので、→を押し、【Cable Book Setting】に変更します。
- ⑧1.27mm を選択して実行します。これで、Cable Book Setting が Default で表示され、1.27mm が選択できるようになります（※0.9 は既に入っているはず）

(2) 上記以外の導体径を測定したい場合

以下のケーブルパラメータを入力する必要があります。必ず、ケーブルメーカーにご確認ください。

- ・ ケーブルゲージ(mm) :
- ・ 静電容量 T-R(nF/km) :
- ・ 静電容量 T-R ~ G(nF/km) :
- ・ 抵抗(Ω /km) :
- ・ 減衰@300kHz(dB/km) :
- ・ 伝搬速度 : (※TDR の場合は伝搬速度、RFL の場合は抵抗値が必要)

以上